

平成28年度 私立大学研究ブランディング事業評価表

評価者 _____

事業名

北陸地方の生薬研究と食文化を基盤とした健康と創薬イノベーション

期間

平成28年4月～平成31年3月

概要

北陸地方は生薬等の研究に特色があり、海産物資源も豊かで独自の食文化の発展を遂げた地域である。本学は、開学以来これまで東洋医薬学、予防・健康薬学を重視し研究活動を行っている。本事業では、北陸地方由来の薬用植物や自生植物、生薬、伝統的食材等を出発材料とし、より効果のある物質を探索することに主眼をおき、新たな商品開発と創薬研究を構築し健康寿命の延伸や在宅医療等の生活の質向上に寄与することを目的とする。

28年度

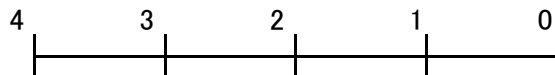
領域 目標

文化領域 加賀藩政期の服用薬の検証、食材及び料理法の記録

実施計画

伝統的食材及び料理法の記録写真を撮影、加賀藩老臣本多家の寿々姫所持薬の検証

進捗評価



- 4 十分行っている。8割以上できている
- 3 行っている方である。5割以上できている。
- 2 十分ではないが行っている。5割未満。
- 1 ほとんど行っていない。
- 0 まったくしていない。まったくできていない。

領域 目標

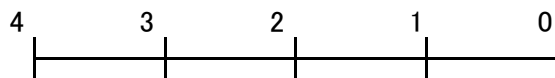
薬学領域 1. カワラケツメイの生理活性を調べる。
2. クマザサ由来のフラボノイドの抗サイトメガロウイルス効果について検討する。

実施計画

(1) カワラケツメイに含まれているフラボノイドが、骨粗鬆症の治療効果を有する可能性を見出しており、当該年度においては単離・精製したフラボノイドの骨粗鬆症予防に対する作用や将来的には治療薬の効果を検証し、その作用機序を解明する。

(2) クマザサ抽出物による抗ウイルス効果を確認し、その有効成分がフラボノイドのトリシンであることを明らかにしてきた。当該年度ではその作用機序の解明を目指す。

進捗評価



- 4 十分行っている。8割以上できている
- 3 行っている方である。5割以上できている。
- 2 十分ではないが行っている。5割未満。
- 1 ほとんど行っていない。
- 0 まったくしていない。まったくできていない。

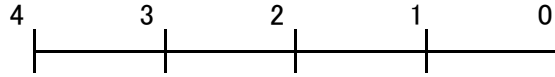
領域 目標

健康領域 (1)クマザサ/カワラケツメイを利用した健康補助食品への期待、ニーズに関する商品化に向けて 質問紙調査を実施する
(2)口腔ケア、口腔トラブルの現状について有識者への聞き取り調査を実施する

実施計画

- ① 口腔ケアに関する本研究の意義や目的、方法について有識者によるアドバイスを得る
- ② 臨床歯科医師への研究協力依頼と、臨床教育・研究倫理審査申請の手続きを行う

進捗評価



- 4 十分行っている。8割以上できている
- 3 行っている方である。5割以上できている。
- 2 十分ではないが行っている。5割未満。
- 1 ほとんど行っていない。
- 0 まったくしていない。まったくできていない。

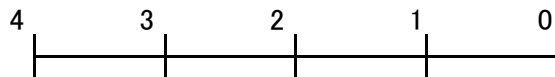
領域 目標

- 経済領域**
1. 北陸地方由来の天然物を洗い出す。
 2. 健康補助食品等に関する消費者のニーズを調査する。

実施計画

- ・市場調査を実施する。現在分かっているカワラケツメイ、クマザサ以外の天然物がないかを調査し、過去にどのように利用されていたか、今後新たにどのような利用の可能性があるかをBrain stormingを実施して洗い出す。
- ・天然物に対する消費者の意識調査と健康補助食品に期待する消費者ニーズを明らかにする。

進捗評価



- 4 十分行っている。8割以上できている
- 3 行っている方である。5割以上できている。
- 2 十分ではないが行っている。5割未満。
- 1 ほとんど行っていない。
- 0 まったくしていない。まったくできていない。

ブランディング事業全体の1年目としての達成度・進捗状況について

- ① 特に優れている点

[]

- ② 問題点と成果の活用見通し

[]

- ③ 今後期待される研究成果

[]